

座長・講師・一般演題演者・公募シンポジウム発表者等 発言者のみなさまへ

- ・ 講師・演者・発表者のみなさまにつきましては、ご発表に際し、発表する研究内容・実践報告等に関する「利益相反」(COI)の開示・公開が必要です。COIの開示・公開に関する記載事項をご確認のうえ、ご対応をお願いいたします。
- ・ 座長・講師・演者・発表者・指定討論者で、事前参加登録がお済みの方は「事前受付」にて、お済みでない方は「当日受付」にて来場受付をしてください。
- ・ 招待講師の方は、「招待者受付」にて来場受付をしてください。

座長のみなさまへ

1. 座長の職務について

- ・ 座長の方は、担当セッション開始予定時刻の15分前までに、会場内前方の「次座長席」にご着席ください。
- ・ 学会企画シンポジウム・大会企画シンポジウム・大会企画ワークショップの時間は90分ですので、延長することのないよう司会進行をよろしく願いいたします。
- ・ 教育講演の場合、2つの講演が90分で確実に終了するよう司会進行をよろしく願いいたします。
- ・ 一般演題 口頭発表の場合、1演題につき発表10分、ディスカッション4分、交代時間1分です。6演題が90分で確実に終了するよう司会進行をよろしく願いいたします。
- ・ 講師・演者・発表者のご氏名や所属機関を読み間違えることのないよう、事前にご確認いただきますようお願い申し上げます。
- ・ セッションを始めるときには「写真撮影・ビデオ撮影・録音は禁止しておりますので、ご協力をお願いいたします。」と必ず、アナウンスしてください。
- ・ 同時通訳セッションではZoomの言語切り替え機能を使います。その場合、オンラインから入る英語の和訳がフロアに流れ、フロアからの日本語の英訳がオンラインに流れる仕組みになっております。したがって、オンサイトにいる座長・講師・発表者やフロアからの発言者が英語で発言されると、通訳がその英語を和訳した音声は海外招聘講師に行ってしまう、フロアには和訳された音声流れません。座長は、「Zoomの言語切り替え機能の都合で、会場におられる方が英語でお話された場合、和訳された音声は会場に届きませんので、会場から発言される際は、どんなに英語を流暢にお話していただける方であっても、必ず、日本語でご発言ください。」とアナウンスしてください。

2. 質疑応答について

- ・ 現地で質疑を受ける場合：フロアに設置されたマイクから質疑を受けてください。
- ・ リアルタイム・オンライン配信(ライブ配信)のあるセッションにおいてオンラインで質疑を受ける場合：「『視聴ポータルサイト』内のコメントボックスに質問をご記入ください。」とアナウンスして、質疑を受け付けてください。投稿されたコメント内容は座長のみご覧いただけます。座長席のPCでご確認のうえ、必要に応じてディスカッションにご活用ください。なお、コメントを要約しますと、質問者の意図と異なる質問になる場合がございますので、時間内に収まるよう注意しつつ、採用する質問はコメントボックスに書き込まれた通りに読み上げてください。
リアルタイム・オンライン配信はストリーミング方式を採用しているため、オンライン視聴者は現地より約20～30秒遅れた映像を視聴することになり、時差が生じますので、その点、ご配慮ください。

講師・一般演題演者・公募シンポジウム発表者等 ご発表されるすべてのみなさまへ

- ・ パソコンを使用して発表される方は、プログラム開始60分前までに「PC受付(G3,1F)」にお越しいただき、必ず、データ受付・試写・動作確認を行ってください。なお、2日目午前中のプログラムで発表される方は、できるだけ前日のうちにデータ受付をお済ませください。
- ・ ご自身が発表されるセッションが始まる15分前までに会場にお集まりください。
- ・ ご自身の発表時間に間に合わない場合は、ご発表いただけません。
- ・ ご発表に際しては、くれぐれも倫理的配慮にご留意ください。

招待講師のみなさまへ

1. 発表について

- ・ 発表時間につきましては、セッションを担当する座長に事前にご確認ください。

2. 配布資料について

- ・ 配布資料がある場合は、12月2日(木)正午までにPDFデータを運営事務局まで送付ください。かながわ大会運営事務局が印刷等の準備をいたします。

3. 発表形式・進行について

- ・ 12月4日(土)の全プログラム、および、12月5日(日)の学会企画シンポジウム1と2・大会企画シンポジウム・教育講演につきましては、リアルタイム・オンライン配信(ライブ配信)がございます。そのため、ディスカッションは、パネリスト同士だけでなく、フロアからも、オンライン参加者からも質疑を受けることができます。
- ・ 大会企画ワークショップとスポンサーセッションにつきましては、オンライン接続設備がございません。

一般演題 口頭発表 演者のみなさまへ

1. 発表について

- ・ 1つのセッションが6つの口頭発表で構成されております。座長の指示に従い、円滑な発表運営にご協力ください。
- ・ 発表時間は10分、ディスカッションは4分です。時間厳守をお願いいたします。
- ・ 筆頭演者は、共同演者も含めて演者全員のCOIを開示・公開してください。

2. 配布資料について

- ・ 一般演題 口頭発表の場合、参加者への資料配付はお断りしております。どうしても、配付したい場合は、ご自身で必要部数を印刷してご準備のうえ、余った資料はすべてお持ち帰りください。

3. 発表形式・進行について

- ・ 一般演題 口頭発表の会場には、オンライン接続設備を置きません。
- ・ 筆頭演者が現地にお越しになれない場合は、事前収録動画をご提出ください。当日は、それを映写いたします。フロアとのディスカッションについては、現地にいらっしゃる共同演者をご担当ください。もし、どなたも現地にお越しいただけない場合は、ディスカッションを割愛させていただきます。

公募シンポジウム企画者・発表者・指定討論者のみなさまへ

1. 発表について

- ・ 公募シンポジウムは、発表者全員の発表や指定討論、フロアとのディスカッション等を含め、全体で90分です。次のセッションの迷惑となりますので、終了時刻を厳守してください。
- ・ 発表者一人ひとりがCOI開示・公開をしてください。
- ・ 発表者の発表に対してコメントをする指定討論者につきましては、必ずしも、COI開示は必要ありませんが、指定討論者をご自身の研究内容や実践報告等を発表される場合はCOI開示・公開が必要になります。
- ・ 企画者や発表者が会場内のレイアウトをご自身で変更されることは可能ですが、終了後は元の状態にお戻しください。

2. 配布資料について

- ・ 会場内で配布する資料は、各自で会場の定員数分を印刷してご持参してください。なお、配付資料の内容については、個人情報保護等について十分に配慮してください。
- ・ 各会場前にテイクフリーデスク(机2本)を設置いたしますので、ご自由にご利用ください。
- ・ 会場内で配付した資料が余った場合はすべてお持ち帰りください。テイクフリーデスクに置かれた資料についても、余った分は各自でお持ち帰りください。学術集会終了時に残っている場合は、処分させていただきます。
- ・ 当日の配布資料等について、かながわ大会運営事務局は関与いたしませんので、各自で責任を持ってご対応ください。

3. 発表形式・進行について

- ・ 公募シンポジウムの会場には、オンライン接続設備を置きません。
- ・ 当日、現地にお越しただけでない発表者につきましては、必ず、事前収録動画をご提出ください。当日は、それを映写いたします。
- ・ 当日、現地にお越しただけでない発表者が、どうしてもオンラインでディスカッションに参加したいという場合は、モバイルWi-Fi及び専用のノートPCをお持ち込みください。その場合、オンライン接続のサポート人員を配置することはできませんので、全責任を企画者に担っていただくことになります。予めご了承ください。
- ・ スムーズな運営にご協力いただきたく、可能な限り現地にいらっしゃる方でセッションを進行していただきますようお願い申し上げます。
- ・ オンデマンド配信につきましては、基本的に事前にご提出いただいた事前収録動画を配信させていただきます。
- ・ 当日収録したオンサイト収録動画をオンデマンド配信にお使いになりたい場合は、かながわ大会運営事務局(jaspcan27-kanagawa@c-linkage.co.jp)にお申し出ください。ただし、個人情報保護の観点から、フロアからの発言者を含め、すべての発表者・発言者からオンデマンド配信に関する承諾をお取りください。おひとりでも承諾が得られていない場合、オンサイト収録動画をオンデマンド配信することはできません。その場合、事前収録動画のご提出がない限り、オンデマンド配信は中止となります。なお、オンサイト収録動画を使う場合、オンデマンド配信の開始時期が遅れますことを予めご了承ください。

4. 質疑応答について

- ・ 企画者は、フロアに設置されたマイクから質疑を受けてください。

発表データについて

1. PC受付 (現地のみ)

日程	時間	場所
12月4日(土)	09:00 ~ 18:00	パシフィコ横浜 ノース 1F G3
12月5日(日)	08:00 ~ 16:30	

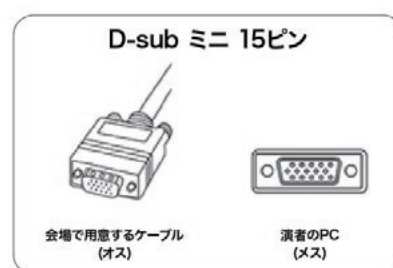
2. データをお持ち込みの方へ (推奨)

- ・ パソコンを使用して発表される方は、**プログラム開始60分前までに「PC受付(G3,1F)」**にお越しいただき、必ずデータ受付・試写・動作確認を行ってください。なお、2日目午前中のプログラムで発表される方は、できるだけ前日にデータ受付をお済ませください。
- ・ ご発表スライドは16:9もしくは4:3にて作成ください。
- ・ USBフラッシュメモリーでお持ち込みください。それ以外のメディアで受付できるのは、CD-R(CD-RW不可)です。メディアは、最新のセキュリティーソフトで、メディアにウイルスが感染していないことを確認のうえ、お持ち込みください。
- ・ 講演会場では、Windows(Windows10)をご用意いたします。
- ・ プレゼンテーション作成ソフトは、Windows版 PowerPoint 2007、2010、2013、2016、2019、365をご使用ください。
- ・ 文字フォントはWindows標準のものをご使用ください。これ以外のフォントを使用した場合は、文字・段落のずれや文字化けなど、正確に表示されないといったトラブルが発生する可能性があります。
- ・ お持ち込みのメディアには、発表当日のデータ(完成版)と、動画を使用される場合は、動画データ以外は入れないようにしてください。動画がある場合には、バックアップとしてご自身のPCのご準備をお願いいたします。
- ・ データのファイル名には、セッション番号(半角英数字)に続き、半角スペースを空けた後、発表者の氏名(漢字)を必ず、入れてください。(例: S1-01 横浜太郎)

- ・ CD-Rに書き込みする際は、ファイナライズ(使用したファイルを閉じる)作業を必ず、行ってください。この作業が行われなかった場合は、データを作成したPC以外で開くことができなくなることがあります。CD-Rを作成したPC以外でもデータを開くことができることを予めご確認ください。
- ・ 必ず、事前にご自身でウイルスチェックを行ってください。
- ・ コピーミスを防ぐため、データのコピーを作成後、他のPCで正常に動作するかどうかをチェックしておいてください。
- ・ 不意のアクシデントに備え、必ず、バックアップデータを持参してください。PCに取り込んだ発表データは、かながわ大会運営事務局で責任を持って消去いたします。
- ・ 発表時には、ご発表スライドの1枚目をスライドショーの状態ですクリーンに映写いたしますので、その後のスライド送りはご自身が舞台上のキーボードもしくはマウスで操作してください。

3. 現地会場にPCをお持ち込みされる方へ

- ・ ご自身のPCを使用して発表される方は、プログラム開始60分前までに「PC受付(G3,1F)」にお越しいただき、試写用モニターにてケーブルの接続を確認して、ご自身のPCから外部モニターに正しく映像が出力されるかをご確認ください。なお、2日目午前中のプログラムで発表される方は、できるだけ前日のうちにデータ受付をお済ませください。
- ・ Windows、Macintosh のどちらも使用可能です。
- ・ Macintoshを使用される場合は、スマートフォンやタブレットではなく、必ず、PC本体をお持ち込みください。
- ・ 液晶プロジェクターとの接続には、D-sub ミニ 15ピンもしくは HDMIコネクターが必要となります。必ず、PC本体の外部出力モニター端子の形状を確認し、必要な場合は専用の接続端子をご持参ください。
- ・ 個々のPCやOSにより設定方法が異なりますので、事前に確認しておいてください。
- ・ 必ず、ACアダプターをご用意いただき、発表時にスクリーンセーバーや省電力機能が作動しないようにしてください。
- ・ スリープからの復帰時や起動時のパスワードは解除しておいてください。
- ・ ご自身のPCと共に、バックアップ用のデータ(USBフラッシュメモリー、CD-R)を持参ください。
- ・ データのファイル名には、セッション番号(半角英数字)に続き、半角スペースを空けた後、発表者の氏名(漢字)を必ず、入れてください。(例:S1-01 横浜太郎)
- ・ 動画や音声をご使用になる場合は、発表データ確認の際に必ず、スタッフにお知らせください。
- ・ セッションの進行および演台スペースの関係上、「発表者ツール」は使用できません。発表原稿が必要な方は予め、プリントアウトしてご持参ください。
- ・ セッション開始時刻の15分前までに、会場内左手前方演台付近のオペレーターデスクまでお越しのうえ、オペレーターにご自身のPCをお渡しください。オペレーターがケーブルを接続し、外部出力の確認を行います。
- ・ 発表後は、会場内PCオペレーターからPCをお受け取りください。



「利益相反」(COI)の開示・公開について

- ・ JaSPCAN第27回学術集会かながわ大会では、臨床研究および学術活動の適切な推進を図り、科学性・倫理性を担保した研究成果の発表の中立性と透明性を確保するため、「利益相反」(Conflict of Interest: COI)の開示・公開をお願いしております。
- ・ 「利益相反」(COI)とは、発表する研究内容や演者・発表者が、関係する事業者から経済的利益を得ていること、もしくは、経済的利益を共有することを意味します。
- ・ COI開示・公開は、一般演題(口頭発表・ポスター発表)・公募シンポジウムなど、すべての研究発表・実践報告および演者・発表者が対象となります。演題登録前過去1年間における、発表内容に関連する企業や営利を目的とする団体に関わる「利益相反」(COI)の状態を開示してください。開示すべき事項は、以下の通りです。
- ・ なお、申告すべきCOIがあるにも関わらず、それを申告・開示しないことは不正行為に当たりますが、決して、COIを有していること自体が演題発表の妨げになるわけではありませんので、COIを適正に申告・開示するよう、よろしくお願いいたします。

利益相反事項

- (1) 当該事業者の役員・顧問職または職員の有無と100万円を超える報酬額
- (2) 企業や営利を目的とした団体から研究員を受け入れている場合、研究者等の配偶者・親・子が当該事業所の役員または職員である場合
- (3) 当該事業者の株式を演題登録日現在の時価評価で100万円を超えて保有(非公開会社の場合は、直近の決算における純資産方式による)している場合
- (4) 当該事業者から特許使用料、日当、講演料、原稿料、研究費、奨学寄附金または寄付として合計100万円を超える金額を受領している場合
- (5) 企業や営利を目的とした団体からの寄付講座に所属している場合
- (6) その他の報酬(研究とは直接に関係しない旅行、贈答品など)の有無
- (7) 当該事業者から研究費として200万円を超える金額を受領している場合
- (8) その他、上記(1)～(7)に準ずる利益相反がある

「当該事業者」とは、営利団体を含めて、独立して同種の業務を反復継続して行う者をいう。

情報の開示と公開は以下の通りとします。

「情報の開示」= 本人しか見ることができない自己の情報を示すこと(個人情報保護制度)

「情報の公開」= 請求により誰でも見ることができる情報を示すこと(情報公開制度)

一般演題(口頭発表・ポスター発表)・公募シンポジウム等におけるCOI開示

- ・ 一般演題 筆頭演者はすべての演者のCOIを、公募シンポジウム 発表者は一人ひとりが自身のCOIをスライドの2枚目(タイトルスライドの後)に開示してください。
- ・ スライドを使うすべての発表において、「COI開示スライド」が必要です。一般演題の場合は、1演題につき「COI開示スライド」は1枚で結構ですが、公募シンポジウムにつきましては、発表者ごとに「COI開示スライド」で申告すべきCOIの有無を開示してください。
- ・ 発表においてスライドを用いない場合は、口頭でCOIを開示してください。

<記載例 利益相反(COI)なし>

日本子ども虐待防止学会第27回学術集会かながわ大会 COI開示

発表者: ○○○○、○○○○、○○○○

(一般演題の場合は、共同演者を含む演者全員の氏名を記載してください。

公募シンポジウムの場合は、発表者の氏名のみを記載してください。)

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

<記載例 利益相反(COI)あり>

日本子ども虐待防止学会第27回学術集会かながわ大会 COI開示

発表者: ○○○○、○○○○、○○○○

(一般演題の場合は、共同演者を含む演者全員の氏名を記載してください。

公募シンポジウムの場合は、発表者の氏名のみを記載してください。)

日本子ども虐待防止学会第27回学術集会かながわ大会の定める利益相反規定に則り開示します。

*以下の開示すべき内容のある項目のみ記載ください。

産学連携活動に係る受け入れ ... 製薬、コンサルタント・指導料 ... 株式会社

講演料 ... 製薬、原稿料 ... 製薬、給与 ... 製薬、株式保有・利益 ... 株式会社

役員報酬 ... 株式会社、特許使用料 ... 製薬、一等親の親族勤務 ... 製薬

スライド例

開示すべきCOIがない場合

日本子ども虐待防止学会 第27回学術集会かながわ大会 COI開示

発表者: ○○○○、○○○○、○○○○、○○○○

※共同演者を含む全ての発表者の氏名を記載してください

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業などはありません。

開示すべきCOIがある場合

日本子ども虐待防止学会 第27回学術集会かながわ大会 COI開示

発表者: ○○○○、○○○○、○○○○、○○○○
※共同演者を含む全ての発表者の氏名を記載してください

日本子ども虐待防止学会第27回学術集会かながわ大会の定める利益相反規定
に則り開示します。

<例>

産学連携活動に係る受け入れ: ○○○○製薬株式会社

コンサルタント・指導料: ○○○○株式会社、講演料: ○○○○製薬会社

原稿料: ○○○○製薬会社、給与: ○○○○製薬会社

株式保有・利益: ○○○○製薬会社、役員報酬: ○○○○製薬会社

特許使用料: ○○○○製薬会社、一等親の親族勤務: ○○○○製薬会社